



この免震装置が支えているのは社会です。

免震工法は、地震の揺れを受け流す技術。結果、建物だけでなく、住む人の安全が高まります。独自に技術開発を進めましたが、普及にはコストが課題となっていました。2005年に開発した「高床免震」は、この課題を克服する転機となりました。大規模プロジェクトや高層マンションだけでなく、絶対数が多い中小規模の賃貸住宅、戸建住宅、病院、最近では高齢者住宅など、あらゆる建物で免震が採用されるようになったのです。また私たちは免震建物に、井戸の設置をお願いしています。災害時、飲料水は配給されますがトイレが使えないのは困ります。街角に日常的に人が集える井戸があることは、地域コミュニティの形成も促します。このような取り組みを通じて分かったのは、地域貢献に共感して頂けるお客さまが多いことです。建築するお客さまは、経済合理性を追求することが全てではないのです。建物は個人の財産であると同時に、社会が共有するインフラでもあります。安全な建物を、この国にどれだけ多くストックできるか。免震技術の開発をはじめ、建築を通じた私たちの挑戦は続きます。

この国に、もっと免震を。

2011年10月、私たちのご契約頂いた免震建物は200棟(5,100戸)を超えました。